

児童発達支援評価表

公表：令和5年12月

事業所名 ほしのごジュニア

	項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			東京都の基準により児童1名につき、3㎡と定められています。当教室は81㎡あり、基準よりも広く、十分なスペースを確保しています。運動療育を行う際に行動範囲が広がりますが、コーナーガードなどを設置し児童の安全に留意した環境整備に努めています。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			利用児童10名に対して、児童発達支援管理責任者1名、児童指導員2名以上で対応しています。専門性についても、全職員が有資格者となっています。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			相談室、職員室、運動スペース等、児童に分かりやすく配置をしています。室内にはコーナーガードを設置し、衝突時の安全に留意しています。掲示物はイラストが入っているものを利用しており、児童たちがわかりやすいようにしています。当教室があるビルにはエレベーターが完備されています。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			朝・児童退所後、清掃・消毒を徹底して行っています。空気清浄機を常時つけていること、また、都度窓を開けて換気をおこなっています。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎朝のミーティング等で、連絡事項、前日の児童の様子振り返りやその日に利用する児童の情報共有をおこなっています。又、何か気づいた点や支援方法、療育内容についての話し合いもおこなっています。	
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に一度、保護者に向けて事業所の評価をお願いしています。その後、保護者からいただいた意見をもとに、改善に向けて職員間で話し合いを行っています。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所向け・保護者向け評価表の結果を集計し、本社のホームページとHUGの活動記録で公開しております。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか	○			今年度、姉妹教室において東京都の実地指導を受けた際の改善点を共有し合い、業務改善に繋げています。	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			「虐待防止」「強度行動障害」「防災」を中心に必要に応じた研修に参加しています。またほしのグループ合同での職員研修も行い、療育の質の向上に努めています。	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			個別支援計画の見直しを6か月に1回、あるいは児童の成長に応じておこなっています。その際、職員間で話し合いや保護者からの意見をもとにして児童発達支援計画(個別支援計画)を作成をしています。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			契約時にアセスメントシートの記入、モニタリング時に更新をお願いしています。また、モニタリング時に内容の更新・修正を行うことで、最新の情報のもと支援が行えるようにしています。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			個別支援計画を作成する際に参考にしています。児童発達支援ガイドラインと照らし合わせることでその児童の支援に必要な項目を選び、具体的な支援内容を設定できるように努めています。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			各職員が児童の個別支援計画を確認しており、個々の目標や課題を意識しながら療育内容を検討し取り組んでいます。集団での療育の為、毎回全ての児童の個別支援計画に沿った内容をおこなうのは難しい面もあります。児童全体の課題としてあげられる事を活動時に意図的に取り入れ、活動を展開しています。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎朝のミーティングや療育後に話し合いの時間を設けています。子ども達の個々の能力・課題を踏まえながら、成長に繋がるような療育の工夫をおこなっています。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			繰り返し経験を積むことにより理解につながることも多くあるため、定期的に同様のプログラムを取り入れることもあります。しかし、固定化しないよう季節ならではの制作や、その日の来所児童の課題に合わせた活動、就園・就学に向けてのスキルが身に付くようなプログラムを行うよう意識しています。内容に意図を持たせた活動を心がけています。	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			集団生活への適応、日常動作の習得等に向けて、個別活動や集団活動を組み合わせた個別支援計画を作成するよう努めています。	
⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝職員ミーティングを行い、その日に来所する児童の情報共有や療育内容について話し合っています。また、前日の振り返りや保護者からの連絡事項についても併せて職員全体で共有しています。		

	18	支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後にその日の振り返りをおこなうようになっています。それぞれの職員からの視点を共有することで、気付きにつながる事が多く、日々の療育に取り入れています。また、振り返りが難しい際には、翌日の職員ミーティング時に共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		HUGIにて各児童の1日の様子やサービス提供内容、全体の活動日誌の記載をおこなっています。支援に関する記録を取る中で、その日の支援を振り返り、児童の様子や支援方法の改善について日々話し合っています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に一度、もしくは児童の成長に合わせてモニタリングをおこなっています。ご家庭での様子、幼稚園・保育園の様子、教室での様子から児童の成長について保護者と職員からの意見をもとに個別支援計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		今年度は該当なし。	児童発達支援管理責任者が対応していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		保育園・幼稚園へ見学に行かせていただいています。あるいは、園の先生が見学に来る事もあります。園の先生からご連絡をいただいた際には、教室での様子をお伝えすることで、情報共有と相互理解を図っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		重症心身障害児以外を対象としている為、該当なし。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		重症心身障害児以外を対象としている為、該当なし。	
	25	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容などの情報共有と相互理解を図っているか	○		今年度は該当なし。	移行支援を行う場合は移行先への情報共有と相互理解を図っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		小学校へ就学する際の意見書(事前にご連絡をいただいた保護者の方へ)の作成をしています。就学先にもどのような配慮や支援があると良いか、分かりやすい内容での記載に努めています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		姉妹教室の職員と連携を図り、児童を多方面から捉えて支援が行えるよう努めています。	
	28	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		ハロウィンなど季節のイベントを姉妹教室間でおこない、異学年交流の機会を設けています。また、イベントや池上本門寺の初詣等、地域行事への参加を通して地域の方と交流する機会を設けています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		区が開催しているネットワーク会議等へ参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		療育後のフィードバックの時間において、その日の児童の様子や見受けられた課題、今後の支援について保護者と共有する場を設けています。また、保護者からもご家庭や幼稚園・保育園での様子について都度情報共有をさせていただいています。	
保護者への説明責任	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		療育後のフィードバック時に、ご家庭でできる支援方法や児童との関わり方等のアドバイスや提案を行っています。また、ご質問やご相談があった際には職員間で支援方法を検討し、後日お伝えする対応をおこなっています。	個別の支援が中心となっている為、グループワーク等の機会も取り入れてまいります。
	32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に契約書類の読み合わせを行っています。また、変更があった場合も同様にその都度お伝えさせて頂いています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		支援内容の説明時には、保護者の納得できる内容となっているか確認を取っています。	今後、求めがあれば児童発達支援ガイドラインを提示しながら対応してまいります。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者対応時のフィードバックの時間や定期的に行われるモニタリング時、個別支援計画の見直しの際などにも、ご家庭や園生活に関する相談に対応しています。また、必要に応じて事前に日時を決めたうえで相談室を開放し、対応しています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		新型コロナウイルスは5類となりましたが、参加人数の定員、検温や消毒を徹底するなど引き続きの感染対策を講じた上で、保護者会やグループ相談支援を開催しています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保護者からの相談、申し入れがあった場合はその都度職員間で共有し、適切な対応について話し合っています。また、申し入れがあった際には随時予定を調整し対応しています。	

等	⑳	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		SNS(Facebook・Instagram)を活用し、活動の様子やご家庭で出来る療育の紹介について定期的に更新し、情報発信しています。保護者会や行事の開催については、フィードバック時ははじめHUGや掲示物でもお伝えしています。	
	㉑	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○		個人情報が記載されている書類について鍵付き書庫にて管理をおこなっています。	
	㉒	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		保護者の方とも情報共有を図りながら、児童との意思疎通についてよりよい伝達方法を日々検討しています。	
	㉓	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から昨年度まで中止していた夏祭りを今年度は7月に開催しています。地域の方にもお声かけし多くの方に来場していただきました。	
非常時等の対応	㉔	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各マニュアルを策案し、教室に保管しています。	マニュアルの閲覧は、随時対応いたします。
	㉕	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		一時避難場所である徳持神社までの避難訓練を含め、教室内・外での防災訓練等を実施しています。	
	㉖	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時や年度が替わる際に、アセスメントシートをお渡しし、記入をお願いしています。また契約時に体調面について留意することを確認させていただき、利用日の入室時にも保護者の方に当日の体調等についてお伺いしています。	現在は入室時、昼食やおやつ時間に検温をおこなっており、検温で37度台の熱が出た場合はお迎えをお願いしています。またてんかん発作時の対応方法についてマニュアルを作成し、対応できるよう対策を講じています。
	㉗	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	○	医師の指示書ではなく、保護者からの指示によって対応していますが、必要に応じて医師の診断書等の提出をお願いしています。	食物アレルギー一覧表を作成し、すぐに確認できる体制を取っています。
	㉘	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットが起きた際は、記録と職員間での共有、フィードバックを徹底しています。また再発防止のための対策等を話し合い改善に努めています。	
	㉙	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部で行われている虐待防止研修に参加しています。研修後は、参加した職員が他職員に内容共有し、教室内・外で起こりうる虐待について話し合う場を設けています。	
	㉚	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		保護者の方や契約時にはどのような場面で身体拘束を行うのかを説明させて頂き、了承を得ています。また、個別支援計画に記載している他、身体拘束同意書を書いていただいています。	